

# 平成 16 年度事業報告

## ・活動概況

平成 16 年度は「東北の総合力発揮に向けて～東北産業経済の活性化と広域連携の推進～」をモットーに、東北新世紀ビジョン「ほくと七星構想」アクションプランの更なる具現化をめざし、諸活動を積極的に展開してきた。

具体的には、「産学官連携を軸とした地域産業の国際競争力の強化と地域密着型産業の育成」「東北の総合力発揮に向けた広域連携の推進」「地域主権による分権型社会の構築」「広域連携の基盤となる基礎的社会資本の整備促進」を重点課題と位置づけ、東北産業経済の活性化に向けた活動を行うとともに、各種提言・調査研究活動、政策要望活動を積極的に実施した。

また、当会が事務局を担っている「東北ベンチャーランド推進センター」によるベンチャー企業への個別支援活動、「東北広域観光推進協議会」による観光産業振興事業、「北海道・東北 21 世紀構想推進会議」の広域連携事業等に対する支援も行った。

## ・重点課題

### 1. 産学官連携を軸とした地域産業の国際競争力の強化と地域密着型産業の育成

「地域産業の国際競争力の強化と育成」では、東北域内外の優れた研究シーズと企業ニーズとのマッチング事業を行う「産学連携マッチング委員会」や、大学が持つ有力な研究開発プロジェクトを地元企業に紹介する「産学連携マッチングフォーラム」等を開催した。その結果、複数の共同研究がスタートし、商品化の検討も始まっている。また、産学官連携に関わる様々な活動をより有効に実行していくため、東北大学総長、宮城県知事、仙台市長、東経連会長による「産学官連携ラウンドテーブル」を開催し、「MEMS パークコンソーシアムの設立」等が決定された。このラウンドテーブルでの決定に基づき創設された「東北インキュベーションファンド」は、東北 7 県の官民への出資呼び掛けの結果、地域ファンドとしては全国最大規模の約 32 億円となり、現在までに東北域内のベンチャー企業 12 社に投資が行われている。また、東北域内のベンチャー企業製品の購入促進を、国や地方自治体、会員企業に働きかける「BUY・ベンチャー東北運動」を東北経済産業局と共同で行った。

「東北ベンチャーランド運動の推進」では、「東北ベンチャーランド推進センター」の事務局を担い、活動を支援した。東北域内の支援機関等の推薦を受けた 17 社のベンチャー企業に対し、営業支援・知的財産戦略確立等の個別支援活動を実施した。

「東北の農業・食関連産業の活性化」では、「東北の農業活性化検討委員会」を組織し、検討を行った。検討を踏まえ、新たな雇用を創出し、活力ある地域経済の実現に向けた提言書「東北の農業活性化について」を発行した。

## 2. 東北の総合力発揮に向けた広域連携の推進

「広域観光事業の展開」では、「東北広域観光推進協議会」の事務局を担い、活動を支援した。東北域外からの誘客プロモーション活動として、「首都圏、関西圏、中部圏におけるプロモーション活動」を強化したほか、首都圏、北海道及び海外をターゲットとした「教育旅行プロジェクト」を開始した。海外からの誘客プロモーション活動として、「韓国国際観光展」「台北国際旅行博」「中国国際旅遊交易会」への出展、「東北フェア in 上海」でのプロモーション活動を行った。ビジット・ジャパン・キャンペーン等を活用した事業として、「ハワイ旅行社招聘事業」「台湾誘客ミッション派遣事業」「長栄航空東北広域招聘事業」「YOKOSO!JAPAN 東北・秋」を実施するとともに、「中国・旅行専門衛星放送テレビの活用による宣伝事業」や「日韓国交正常化40周年記念韓国プロモーション事業」を行った。外客取扱い専門業者に関する基礎調査等の活動として、協議会内に「プロモーションセンター」を設置した。

「国際交流事業の展開」では、昨年3月の「2004年日中経済協力会議-於仙台」の開催を受け、中国の東北振興政策や関連動向等の把握、省政府関係機関との交流、現地の投資貿易環境視察、日中双方のビジネスチャンス拡大等のため、八島会長を団長に「東経連・中国東北部経済交流視察団」を派遣した。

「広域連携事業の展開」では、「北海道・東北21世紀構想推進会議」へ事務局員を派遣し、活動を支援した。同会議では、国際観光プロモーションの推進として、「北海道・東北プロモーションオフィス」を中国・上海、台湾・台北の2都市に試験的に設置し、北海道・東北7県のプロモーション活動を行った。また、北東アジアネットワーク拠点の整備として、「中国市場マーケットリサーチ事業」や月刊情報誌「中国短信」の発行など、中国への域内企業の事業展開サポートを行った。

## 3. 地域主権による分権型社会の構築

地域主権による分権型社会の構築等を盛り込んだ「平成17年度政府予算に関する要望」、自立的な景気回復に向けた機動的な経済政策の実施等を盛り込んだ「小泉内閣に望む」を小泉内閣はじめ国等関係機関に対して行った。その中で、税源移譲等による地方自立基盤の確立や広域連携プロジェクトの推進、首都機能移転の着実な推進等を訴えた。

また、北海道、北陸、東北の3経連による「三経連経済懇談会」の決議を踏まえ、実効ある地方分権の推進等を盛り込んだ「三経連経済懇談会要望」を国等関係機関に対して行うとともに、10月の新潟県中越地震の発生に伴い、激甚災害の指定、補正予算の早期編成成立等を盛り込んだ「新潟県中越地震対策の早期実施に関する緊急要望」、復興支援特別法の制定、財政支援等を盛り込んだ「新潟県中越地域の早期震災復興に関する要望」を国等関係機関に対して行った。

## 4. 広域連携の基盤となる基礎的社会資本の整備促進

地域の自立と連携の基盤となる基礎的社会資本の整備等を盛り込んだ「平成17年度政府予算に関する要望」、「フォーラム東北は訴える！ - インフラ整備これでいいのか」での決議を踏まえて、公共事業の東北への重点配分等を盛り込んだ「東北における社会資本整備

の推進に関する提言」、並びに、北海道、北陸、東北の3経連による「三経連経済懇談会」の決議を踏まえて、地域経済の自立と発展を支える社会資本整備の促進等を盛り込んだ「三経連経済懇談会要望」を国等関係機関に対して行った。

また、日本海国土軸の根幹をなす北陸自動車道、東北横断自動車道、東北縦貫自動車道と連結して、沿線地域の産業経済の発展や内外の交流・連携を活性化させる重要な路線である「日本海沿岸東北自動車道」の早期実現について、「第6回日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム」での決議を踏まえ、「日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望」を国等関係機関に対して行った。

## ・活動内容

### 総会・役員会等

#### 1. 通常総会

##### ・第8回

5月26日

会員756名（委任状を含む）の出席を得て開催。

八島会長が挨拶の後、議長となり、議事を進め、第1号～第4号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：第7回通常総会後の役員補充選任承認の件

第2号議案：平成15年度事業報告並びに平成15年度収支決算報告の件

第3号議案：平成16年度事業計画並びに平成16年度収支予算の件

第4号議案：任期満了に伴う役員選任の件

総会終了後、特別講演を開催。

演題：「逆さメガネで見る世界と東北」

講師：東京大学名誉教授（医学博士）

養老孟司氏

#### 2. 常任理事会

##### ・第12回

4月23日

坪井副会長（当時）ほか副会長、常任理事合わせて20名の出席を得て開催。「平成15年度事業報告並びに平成15年度収支決算報告の件」について審議。

##### ・第13回

3月22日

八島会長ほか副会長、常任理事合わせて21名の出席を得て開催。「平成17年度事業計画並びに平成17年度収支予算の件」について審議。

#### 3. 理事会

##### ・第36回

4月23日

理事115名（委任状を含む）の出席を得て開催。坪井副会長（当時）が挨拶の後、議長となり、議事を進め、第1号～第3号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

第1号議案：新規入会会員の件

第2号議案：平成15年度事業報告並びに平成15年度収支決算報告の件

第3号議案：第8回通常総会付議事項の件

(1) 第7回通常総会後の役員補充選任承認

(2) 平成15年度事業報告並びに平成15年度収支決算報告

(3) 平成16年度事業計画並びに平成16年度収支予算

(4) 任期満了に伴う役員選任

##### ・第37回

5月26日

理事113名（委任状を含む）の出席を得て開催。八島会長が議長となり、議事を進め、第1号～第6号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

- 第1号議案：任期満了に伴う会長、副会長選任の件
- 第2号議案：任期満了に伴う専務理事、常務理事、常任理事選任の件
- 第3号議案：任期満了に伴う評議員会議長、評議員委嘱の件
- 第4号議案：任期満了に伴う委員会、地域懇談会の委員長、副委員長委嘱の件
- 第5号議案：任期満了に伴う顧問及び参与委嘱の件
- 第6号議案：事務局長委嘱の件

・第38回 7月28日  
理事119名（委任状を含む）の出席を得て開催。八島会長が挨拶の後、議長となり、議事を進め、第1号～第2号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

- 第1号議案：新規入会会員の件
- 第2号議案：役員等の補充選任の件

・第39回 12月2日  
理事117名（委任状を含む）の出席を得て開催。八島会長が挨拶の後、議長となり、議事を進め、第1号～第3号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

- 第1号議案：新規入会会員の件
- 第2号議案：役員等の補充選任の件
- 第3号議案：要望活動の件

・第40回 3月22日  
理事116名（委任状を含む）の出席を得て開催。八島会長が挨拶の後、議長となり、議事を進め、第1号～第4号議案が審議され、満場一致で可決、承認。

- 第1号議案：新規入会会員の件
- 第2号議案：役員等の補充選任の件
- 第3号議案：平成17年度事業計画並びに平成17年度収支予算の件
- 第4号議案：要望活動の件

#### 4. 評議員会

・第14回 11月26日  
松村議長ほか評議員32名（代理を含む）の出席を得て開催。松村議長が挨拶の後、議事を進め「平成16年度事業活動報告」について審議。

・第15回 3月16日  
松村議長ほか評議員38名（代理を含む）の出席を得て開催。松村議長が挨拶の後、議事を進め「平成16年度事業活動報告」「平成17年度事業計画（案）」について審議。

議事終了後、講演会を開催。

演題：「当面の景気動向について - なるか踊り場脱出」

講師：日本銀行仙台支店長

八尾和夫氏

#### 5. 監事会

・第8回 4月23日  
監事3名の出席を得て開催。平成15年度における会計及び業務の監査を受けた。

## 委員会活動

### 1. 経済政策委員会（委員長・齋藤 育夫副会長）

経済政策委員会では、政府予算編成、経済財政運営、新ビジネスの創出に向けた規制の緩和・撤廃等に関する政策要望を行うとともに、会員ニーズの把握、メールマガジン「東経連インフォ・ボックス」の発行、会員からの情報発信等の仕組みを加えたホームページのリニューアルを行った。

#### (1) 委員会の開催

##### ■経済政策委員会

- ・第6回 9月6日

齋藤委員長ほか委員10名の出席を得て開催。「平成16年度事業活動状況」について審議。

#### (2) フォーラム等の開催

##### ■平成16年度経済財政白書説明会

- ・第1回（新潟市） 9月2日

会員ほか約80名の出席を得て開催。

講師：内閣府政策統括官付参事官

梅 溪 健 児 氏

- ・第2回（仙台市） 9月6日

会員ほか約100名の出席を得て開催。

講師：内閣府政策統括官付参事官

梅 溪 健 児 氏

##### ■東経連・DBJセミナー

東北地域の振興開発にとって喫緊かつ重要な課題をテーマに、日本政策投資銀行（DBJ）と共同で、会員企業を対象とした短期集中型のセミナーを開催。

- ・PFI実践セミナー 2月16日、2月23日、3月2日、3月9日

会員ほか約30名の参加を得て、PFIプロジェクトの実現に向けた企画力、問題解決能力の涵養を目的に実施。

#### (3) その他

##### ■月例経済報告の作成（毎月）

##### ■メールマガジン「東経連インフォ・ボックス」の発行（随時）

##### ■東北の構造改革特区の状況調査（9月、12月）

##### ■ホームページのリニューアル（10月7日）

### 2. 産業政策委員会（委員長・西井 弘副会長）

産業政策委員会では、昨年度に引き続き「産学連携マッチング委員会」により、東北域内外の優れた研究シーズと企業ニーズをマッチングさせる事業を行った。現在までに、数件の共同研究がスタートし、商品化の検討も始まっている。また、委員会内に「東北の農業活性化検討委員会」を組織し、東北地域の経済活性化、我が国食料自給率の向上のため検討を行い、提言書「東北の農業活性化について」を発行した。東北ベンチャーランド運動の推進のため、「東北ベンチャーランド推進センター」の活動を支援した。同センターでは、経験豊富なアドバイザーなどにより東北域内のベンチャー企業17社へ特

許対策や販路開拓などの個別支援活動を行った。加えて、東北経済産業局と共同で、ベンチャー企業製品の国や地方自治体、会員企業による購入拡大を目的に「BUY・ベンチャー東北運動」に取り組んだ。

## (1) 委員会の開催

### ■産業政策委員会

- ・第1回 7月29日  
西井委員長ほか委員15名の出席を得て開催。「平成16年度活動計画及び活動状況」について審議。
- ・第2回 3月8日  
西井委員長ほか委員13名の出席を得て開催。「平成16年度活動状況及び平成17年度活動計画（案）」について審議。

### ■産学連携マッチング委員会（委員長・菅原剛彦通研電気工業（株）相談役）

地域産業の国際競争力強化に向けて、大学、企業とのマッチング活動を実践。

- ・第10回 5月12日
- ・第11回 8月5日
- ・第12回 9月22日
- ・第13回 11月30日
- ・第14回 3月31日

### ■東北産学官連携コーディネーター委員会

東北地域の中核的な産業支援機関のコーディネーターのネットワーク強化に向けて開催。

- ・第1回 6月11日  
東北7県の中核的な産業支援機関のコーディネーターの出席を得て、東北イノベーションキャピタル（株）、（株）ICRとの意見交換会を開催。

### ■産学官連携ラウンドテーブル

産学官連携による地域の産業競争力強化に向けて開催。

- ・第2回 11月25日  
吉本高志・東北大学総長、浅野史郎・宮城県知事、藤井 黎・仙台市長、八島会長の4者による宮城県版ラウンドテーブルを開催し、あおばサイエンスパーク構想、MEMSパークコンソーシアム設立等について意見交換。

### ■第3期科学技術基本計画提言研究会（委員長・井口泰孝東北大学教授）

第3期科学技術基本計画（平成18年度～23年度）に対して地域の視点から国に対して政策提言を行うことを目的に、東北インテリジェント・コスモス構想推進協議会と共同で設置。4回の協議を踏まえ、提言書「科学技術を源泉とした地域の産業競争力強化に向けて」を発行、国等関係機関に要望活動を実施。

- ・第1回 1月7日
- ・第2回 1月27日
- ・第3回 2月24日
- ・第4回 3月23日

## ■MEMS 産業クラスター形成戦略検討委員会（委員長・原山優子東北大学教授）

次世代型ものづくりの基盤技術として期待が高まる MEMS（Micro Electric Mechanical Systems）技術による産業クラスター形成に向けて、関連企業、大学、公的研究機関とのアライアンスのあり方や支援体制の構築、今後必要とされる支援政策など具体的な方向を検討することを目的に、東北経済産業局と共同で設置。4 回の検討を踏まえ、提言書「MEMS 産業クラスター形成戦略検討提言」（仮称）を発行予定。

- ・第 1 回 11 月 29 日
- ・第 2 回 12 月 27 日
- ・第 3 回 1 月 22 日
- ・第 4 回 3 月 17 日

## ■東北の農業活性化検討委員会（委員長・西井 弘副会長）

国の食料・農業・農村基本計画（平成 17 年 3 月答申）の検討を踏まえ、今後の東北地域の経済活性化の実現、さらには我が国食料自給率の向上に向けて組織。3 回の検討を踏まえ、提言書「東北の農業活性化について」を発行。

- ・第 1 回 7 月 23 日
- ・第 2 回 10 月 18 日
- ・第 3 回 11 月 18 日

## (2) フォーラム等の開催

### ■次世代技術開発講演会

- ・第 1 回（仙台市） 4 月 26 日

会員ほか約 100 名の出席を得て開催。

演題：「既存インフラ関連産業の新しい事業戦略-MEMS 技術を柱にした高付加価値化」

講師：（株）テクノ・インテグレーション代表取締役 出川 通氏

演題：「MEMS パークコンソーシアム構想の概要-東北を世界の MEMS 中心地へ」

講師：東北大学大学院工学研究科教授 原山 優子氏

### ■東北産業経済再生シンポジウム

- ・第 2 回（仙台市） 7 月 12 日

西井委員長ほか約 180 名の出席を得て開催。

[基調講演]

演題：「東北産業経済再生とマーケティングを考える」

講師：法政大学経営学部教授 小川 孔輔氏

[パネルディスカッション]

テーマ：「国際競争力強化に向けた東北地域の産学官の役割」

コーディネーター：

東北大学大学院経済学研究科教授 大滝 精一氏

パネリスト：

（株）佐野薬品代表取締役 佐野 公彦氏

東北イノベーションキャピタル（株）代表取締役 熊谷 巧氏

東北経済産業局長 本部 和彦氏

東北大学未来科学技術共同研究センター助教授

白井泰雪氏

## ■産学連携マッチングフォーラム

### ・第1回（仙台市）

7月13日

会員ほか約90名の参加を得て開催。

演題：「フリーラジカル研究を基盤とした応用技術」

講師：東北大学未来科学技術共同研究センター教授

河野雅弘氏

### ・第2回（秋田市）

8月23日

会員ほか約20名の参加を得て開催。

演題：「再生医療と機能性食品」

講師：秋田大学医学部教授

杉山俊博氏

### ・第3回（仙台市）

3月28日

会員ほか約20名の参加を得て開催。

演題：「ヒヤリハット状態の検知技術」

講師：産業技術総合研究所関西センター人間福祉医工学研究部門総括研究員兼くらし情報工学グループ長

松岡克典氏

産業技術総合研究所関西センター人間福祉医工学研究部門暮らし情報工学グループ研究員

吉野公三氏

## ■農業問題講演会（仙台市）

3月8日

会員ほか約80名の出席を得て開催。

演題：「東北の農業活性化と活力ある地域経済の実現に向けて」

講師：宮城大学事業構想学部教授

大泉一貫氏

## ■工場見学会

### ・第1回（仙台市）

5月12日

会員ほか約80名の出席を得て、(株)日本セラテック、凸版印刷(株)を見学。

## ■第14期異業種交流会（宮城県富谷町）

11月15日～17日

会員企業の若手中堅社員ほか約40名の参加を得て、「知的財産」をテーマに、システムインテグレーション(株)の多喜義彦代表取締役をメインインストラクターとして開催。

### (3) 東北ベンチャーランド推進センターの活動支援

※「関係団体の活動推進」を参照のこと。

### (4) その他

## ■BUY・ベンチャー東北運動

国、地方自治体、会員企業による東北地域のベンチャー企業製品の試験的調達や購入促進を目的に、東北経済産業局と共同で運動を開始。

・BUY・ベンチャー東北マッチングプレゼンテーション 8月26日、11月4日、2月24日

具体的な商談につなげるため、ベンチャー企業から会員企業等へのプレゼンテーションの場を設定。

### 3. 地域政策委員会（委員長・渡邊 靖彦副会長）

地域政策委員会では、当会内に事務局を置く「北海道・東北 21 世紀構想推進会議」と連携して「国際観光プロモーション事業の推進」、「北東アジア情報ネットワーク拠点整備事業の推進」、「公設試験研究機関に関する検討」、「北海道・東北地域内の重要プロジェクトへの支援」を柱に事業活動を行った。

#### (1) 委員会の開催

##### ■地域政策委員会

##### ・第 1 回

3 月 9 日

渡邊委員長ほか委員 15 名の出席を得て開催。「平成 16 年度事業報告」「平成 17 年度事業計画（案）」について審議。

#### (2) フォーラム等の開催

##### ■PFI セミナー in 福島（福島市）

7 月 16 日

会員ほか約 250 名の出席を得て、日本 PFI 協会との共催により開催。

講師：日本 PFI 協会専務理事

植 田 和 男 氏

##### ■地域政策委員会講演会（仙台市）

3 月 9 日

会員ほか約 100 名の出席を得て開催。

演題：「地方分権と市町村合併」

講師：同志社大学大学院総合政策科学研究科教授

新 川 達 郎 氏

#### (3) 北海道・東北 21 世紀構想推進会議の活動支援

※「関係団体の活動推進」を参照のこと。

### 4. 日本海沿岸振興委員会（委員長・上原 明副会長）

日本海沿岸振興委員会では、日本海沿岸東北自動車道の早期全線開通に向けて「第 6 回日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム」を開催し、その際の決議を踏まえ、国等関係機関に要望活動を行った。また、北東アジアとの経済交流拡大に向けて「東経連・中国東北部経済交流視察団」を派遣した。

#### (1) フォーラム等の開催

##### ■日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム

##### ・第 6 回（新潟市）

9 月 13 日

八島会長、上原委員長ほか約 1000 名の出席を得て、日本海沿岸東北自動車道の早期完成を促進するため、東北及び沿線 4 県の民間経済 94 団体による「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム実行委員会」（代表・八島会長）主催の下、開催。この際の決議を踏まえ、国等関係機関に要望活動を実施。

[基調講演]

演題：「逆境に負けない」

講師：NHK 経済社会情報番組エグゼクティブプロデューサー

今 井 彰 氏

[大会決議]

（社）新潟県商工会議所連合会会頭

上 原 明 氏

■日・米・中 国際シンポジウム（仙台市）

3月22日

※「交流活動」を参照のこと。

(2) その他

■東経連・中国東北部経済交流視察団

9月17日～9月28日

※「交流活動」を参照のこと。

5. 交通運輸委員会（委員長・勝股 康行副会長）

交通運輸委員会では、フォーラム「東北は訴える！インフラ整備これでいいのか」を開催し、その決議を踏まえ国等関係機関に要望活動を行った。

(1) 委員会の開催

■交通運輸委員会

・第5回

3月14日

勝股委員長ほか委員15名の出席を得て開催。「平成16年度活動報告」「平成17年度活動計画（案）」について審議。

(2) フォーラム等の開催

■国土交通白書説明会（仙台市）

6月16日

会員ほか約270名の出席を得て開催。

講師：国土交通省大臣官房審議官

糸川昌志氏

■フォーラム「東北は訴える！インフラ整備これでいいのか」（仙台市）

7月22日

八島会長ほか約1300名の出席を得て、平成17年度の政府予算の編成に向け、公共事業の東北への重点配分を訴えるため開催。この際の採択を踏まえ、国等関係機関に要望活動を実施。

[基調講演]

演題：「これからの地震防災」

講師：京都大学防災研究所巨大災害研究センター長

河田恵昭氏

[要望採択]

東北6県商工会議所連合会会長（当時）

村松巖氏

■中国の経済発展と東北の港湾・空港シンポジウム（仙台市）

3月14日

会員ほか約220名の出席を得て、東北地方整備局等と共催により開催。

[基調講演]

演題：「中国ダイナミズムと東北地方の経済活性化」

講師：三井物産戦略研究所中国経済センター長

沈才彬氏

[パネルディスカッション]

テーマ：「東北の地域活性化と中国との関わり」

コーディネーター：

（株）河北新報社論説委員

岩瀬昭典氏

パネリスト：

東北大学大学院情報科学研究科教授

稲村肇氏

ソニーサプライチェーンソリューション（株）業務管理部長

小池幸男氏

三井物産戦略研究所中国経済センター長

沈才彬氏

秋田海陸運送（株）常務取締役

西宮公平氏

（株）ファーストインターナショナル取締役ゼネラルマネージャー

吉田悦子氏

## 6. 情報通信委員会（委員長・佐藤 勝三副会長）

情報通信委員会では、委員会内に設置した「デジタルコンテンツビジネス検討会」により、今後成長が期待されるデジタルコンテンツ及び関連分野の活性化方策の検討を行い、報告書「コンテンツビジネス育成への試案」を発行した。

### (1) 委員会の開催

#### ■情報通信委員会

##### ・第5回

10月29日

坪井委員長（当時）ほか委員20名の出席を得て開催。「平成16年度事業活動状況」について審議。

#### ■デジタルコンテンツビジネス検討会（委員長・布川博士岩手県立大学教授）

今後の成長が期待されるデジタルコンテンツ及び関連分野の活性化方策を探るために設置。2回の検討を踏まえ、報告書「コンテンツビジネス育成への試案」を発行。

##### ・第2回

6月29日

### (2) フォーラム等の開催

#### ■情報通信委員会講演会（仙台市）

10月29日

会員ほか約80名の参加を得て開催。

演題：コンテンツビジネスの展望について

講師：（株）角川ホールディングス経営企画部長

高木茂氏

### (3) その他

#### ■東北電子認証普及促進協議会への参画

#### ■「IT経営応援隊」への参画と普及啓蒙活動

## 7. 環境資源エネルギー委員会（委員長・亀井 昭伍副会長）

環境資源エネルギー委員会では、委員会内に組織した「環境負荷ミニマム循環型地域形成検討委員会」により、循環型社会のモデル地域形成について検討を行った。

### (1) 委員会の開催

#### ■環境負荷ミニマム循環型地域形成検討委員会（委員長・阿尻雅文東北大学教授）

全国に先駆けて、循環型社会のモデル地域を形成することにより、東北地域の循環型社会形成ポテンシャルを全国に示すとともに、モデル地域を東北地方に順次拡大していくベースとするため設置。

##### ・第2回

4月4日

##### ・第3回

9月7日

・第4回

12月13日

(2) フォーラム等の開催

■葛巻町新エネルギービジョン及び関連新エネルギー設備見学会（岩手県葛巻町）

5月27日～28日

会員ほか約50名の参加を得て開催。葛巻町の新エネルギービジョンの概要説明を受けるとともに、グリーンパワーくずまき風力発電所等の関連施設を見学。

**8. 観光文化委員会（委員長・丸森 仲吾副会長）**

観光文化委員会では、当会内に事務局を置く「東北広域観光推進協議会」と連携して、県境を越えた広域的な視点から国内外の誘客促進に努めた。

(1) 委員会の開催

■観光文化委員会

・第1回

3月7日

丸森委員長ほか委員24名の出席を得て開催。「平成16年度事業報告」「平成17年度事業計画（案）」について審議。

(2) 東北広域観光推進協議会との連携

※「関係団体の活動推進」を参照のこと。

## 地域懇談会活動

### 1. 青森地域懇談会（委員長・林 光男副会長）

#### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（三沢市） 9月15日  
竹林三沢商工会議所会頭ほか会員8名の出席を得て開催。
- ・会員懇談会（青森市：県内全会員対象） 11月12日  
八島会長、林委員長ほか青森地域の会員24名の出席を得て、地域フォーラムと同時開催。

#### (2) 地域フォーラムの開催

- ・地域活性化フォーラム in 青森（青森市） 11月12日  
八島会長、林委員長はじめ、会員ほか約120名の出席を得て開催。  
演題：「アジアから見た東北の魅力 - インバウンドビジネスの未来」  
講師：(株) ATC 日本旅遊取締役営業部長 砂原 泉氏

### 2. 岩手地域懇談会（委員長・齋藤 育夫副会長）

#### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（釜石市） 7月1日  
佐々木釜石商工会議所会頭ほか会員7名の出席を得て開催。
- ・会員懇談会（盛岡市：県内全会員対象） 10月7日  
八島会長、齋藤委員長ほか岩手地域の会員26名の出席を得て、地域フォーラムと同時開催。

#### (2) 地域フォーラムの開催

- ・地域活性化フォーラム in 盛岡（盛岡市） 10月7日  
八島会長、齋藤委員長はじめ、会員ほか約130名の出席を得て開催。  
演題：「観光と地域活性化」  
講師：(株) ジェイティービー常務取締役 清水 慎一氏

### 3. 宮城地域懇談会（委員長・丸森 仲吾副会長）

#### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（石巻市） 4月14日  
菊田石巻商工会議所会頭（当時・当会常任理事）ほか会員9名の出席を得て開催。

### 4. 秋田地域懇談会（委員長・渡邊 靖彦副会長）

#### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（横手市） 9月27日  
岩佐横手商工会議所会頭（当会常任理事）ほか会員9名の出席を得て開催。
- ・会員懇談会（秋田市：県内全会員対象） 3月15日  
八島会長、渡邊委員長ほか秋田地域の会員20名の出席を得て、地域フォーラムと同時開催。

## (2) 地域フォーラムの開催

- ・地域活性化フォーラム in 秋田（秋田市） 3月15日  
八島会長、渡邊委員長はじめ、会員ほか約100名の出席を得て開催。  
演題：「日本の観光振興を考える-いま、なぜ観光振興なのか」  
講師：日本政策投資銀行交通・生活部長 佐々木 一成氏

## 5. 山形地域懇談会（委員長・山澤 進副会長）

### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（酒田市） 6月9日  
齋藤酒田商工会議所会頭（当会常任理事）ほか会員10名の出席を得て開催。
- ・会員懇談会（山形市：県内全会員対象） 2月22日  
八島会長、山澤委員長ほか山形地域の会員25名の出席を得て、地域フォーラムと同時開催。

### (2) 地域フォーラムの開催

- ・地域活性化フォーラム in 山形（山形市） 2月22日  
八島会長、山澤委員長はじめ、会員ほか約150名の出席を得て開催。  
演題：「地域活性化と日本経済」  
講師：(株)大和総研チーフエコノミスト 原 田 泰氏

## 6. 福島地域懇談会（委員長・佐藤 勝三副会長）

### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（会津若松市） 9月3日  
宮森会津若松商工会議所会頭（当時・当会理事）ほか会員8名の出席を得て開催。
- ・会員懇談会（福島市：県内全会員対象） 10月4日  
八島会長、坪井委員長（当時）ほか福島地域の会員24名の出席を得て、地域フォーラムと同時開催。

### (2) 地域フォーラムの開催

- ・地域活性化フォーラム in 福島（福島市） 10月4日  
八島会長、坪井委員長（当時）はじめ、会員ほか約130名の出席を得て開催。  
演題：「経営者の視点で考える、成功するIT導入のツボ」  
講師：ナレッジネットワーク（株）代表取締役 森 戸 裕 一氏

## 7. 新潟地域懇談会（委員長・上原 明副会長）

### (1) 会員懇談会の開催

- ・会員懇談会（長岡市） 7月13日  
田村長岡商工会議所会頭（当会理事）ほか会員7名の出席を得て開催。

## 関係団体の活動推進

### 1. 東北ベンチャーランド推進センターの活動への支援

東北ベンチャーランド運動の中核的推進機関である、東北ベンチャーランド推進センターの事務局を担い、活動を支援した。東北域内の支援機関等の推薦を受けた17社のベンチャー企業に対し、営業支援・知的財産戦略確立等の個別支援活動を実施した。また、東北インキュベーションファンドから支援企業3社（ダイレクトコミュニケーションズ、ディアナサン、ナノテム）が投資を受けた。

同センターは、経営者との信頼関係を基盤としたうえで、企業の経営課題全般に対し継続的かつ親身な支援を実施している。活動にあたっては、支援対象企業への訪問を基本としており、平成16年度の実績として、アドバイザー、支援協力者、事務局スタッフによる各企業との面談の延べ回数は93回、延べ人数は231名であった。平成16年度の主な支援内容は次の通りであるが、企業側の体制整備が進んできたことに加え、初期の知的財産戦略、経営体制支援が減少し、営業、販売・販路開拓、技術評価関連の支援が増加している。

#### (1) 営業、販売・販路開拓支援

##### ■BUY ベンチャー東北マッチング事業との連携

- ・プレゼンテーション企業として支援企業4社を紹介。  
(エスケーテック、パウダーテクノコーポレーション、坂本バイオ、大武ルート工業)

##### ■みやぎビジネスマーケットマッチング事業との連携

- ・プレゼンテーション企業として支援企業4社を紹介。  
(ディアナサン、ナノテム、コスモテック、エスケーテック)

##### ■セミコンジャパン2004への出展（平成16年12月1日～3日、幕張メッセ）

- ・半導体分野の大規模展示会に支援企業2社と共同でブース出展。（白田製作所、ナノテム）

##### ■その他

- ・各業界の展示会情報の提供。
- ・海外展開のための専門商社の紹介。
- ・大手自動車メーカー、建設会社、電力会社、医療系商社等への製品紹介。
- ・食品に関して、各会合等で試食配布、アンケートのフィードバックの実施。
- ・国内外出展助成措置の適用。（6件）

#### (2) PR 支援

- ・東北7県ネットのテレビ番組（元気一番生テレビ）への紹介。  
(エスケーテック、オリザジャパン、坂本バイオ、ディアナサン、テフコ青森、東京マイクロデバイス、パウダーテクノコーポレーション、フジ機工)
- ・支援企業紹介パンフレット「ぐん」各社リーフレット版の改定。
- ・ショールームオープン、業務提携等のプレスリリースに関するアドバイス及びマスコミへの情報提供。

#### (3) 特許等の知的財産戦略支援

- ・特許の有効活用のため、特許コンサルティングアドバイザーによるライセンス契約に関する指導。

- ・外部専門家（弁護士）と提携し、販売代理店契約に関する契約書を作成。
- ・外部専門家（弁護士）と提携し、商標登録を出願。
- ・特許取得促進助成措置の適用。（14件）

#### (4) 技術開発、技術評価、用途開発への支援

- ・大手半導体メーカー、商社を通じて、製品評価とサンプル加工による技術評価を実施。
- ・アドバイザーの人脈を活用し、ユーザー要望をフィードバックさせた用途開発及び各種のアイデア提供。
- ・東経連産学連携マッチング委員会でのシーズ案件を紹介。

#### (5) 経営体制・生産改善・人材確保

- ・経営体制強化に向けて人材を確保したいとの相談を受け、先方社長とヘッドハンターとの面談を実施、設計関連の人材を紹介。
- ・外部専門家（生産改善コンサル会社）と提携し、工場の生産改善を指導。

上記活動の成果として、大手企業からの受注決定や多数の見積り依頼、商標登録となったケース、適切な契約締結、認知度の向上などがある。

一方で、資金調達等の困難さ、医療機器など特定分野での販路開拓支援の難しさ等も課題としてあげられる。

#### (支援企業 17社)

##### 【青森県】

(株)ダイレクトコミュニケーションズ、テフコ青森(株)

##### 【岩手県】

(株)大武ルート工業、東京マイクロデバイス(株)花巻工場

##### 【宮城県】

(有)オリザジャパン、ディアナサン(株)、マイテック(株)

##### 【秋田県】

(株)坂本バイオ、(株)テクト

##### 【山形県】

(株)白田製作所、パウダーテクノコーポレーション(有)、マイクロトモグラフィ(株)

##### 【福島県】

アライ(株)、(株)コスモテック、(株)フジ機工

##### 【新潟県】

(株)エスケーテック、(株)ナノテム

## 2. 東北広域観光推進協議会の活動への支援

昨年度に引き続き、東北広域観光推進協議会の事務局を担い、活動を支援した。平成16年度は「東北域外からの誘客プロモーション活動」、「海外からの誘客プロモーション活動」、「ビジット・ジャパン・キャンペーン等を活用した事業の検討・実施」、「受入体制の基盤整備の促進」、「情報発信の強化」を柱に、事業活動を行った。

### (1) 国内観光：東北域外からの誘客プロモーション活動の強化

#### ■首都圏における誘客プロモーション活動

##### ○「東北旅メッセ2004」への協力（東京駅）

6月9日～15日

- ・東北の自然や祭り、旅の魅力を紹介。

#### ■関西圏における誘客プロモーション活動

- ・航空会社の協力を得て、大手旅行会社及び航空会社系旅行会社の商品造成担当者を2班に分けて、東北に招聘。その後具体的商品を作成。
- ・JALコース（9月7日～9日）招聘者9名・宮城県、岩手県等を視察。
- ・ANAコース（9月21日～23日）招聘者12名・山形県、福島県等を視察。

#### ■中部圏における誘客プロモーション活動

##### ○「旅フェア2004」への出展協力（名古屋市）

4月16日～18日

- ・東北の夏祭等の観光素材の魅力を紹介。

##### ○中部圏旅行会社との商談会の実施（名古屋市）

4月16日

- ・名古屋圏旅行会社・仕入企画担当との商談会。東北では初の試み。

#### ■教育旅行プロジェクトの実施

- ・首都圏、北海道及び海外（韓国・台湾・香港）をターゲットに「体験型教育旅行」という新たな市場開拓を図るため、東北の官民一体となり、プロジェクト推進のための組織を設置。3ヶ年（16年度～18年度）計画で事業を推進。
- ・東北広域教育旅行誘致委員会を設立（3月25日）。
- ・教育旅行シンポジウムを開催（3月25日）。

#### ■旅行会社による「東北広域キャンペーン」の実施

- ・大手6旅行会社の東北送客を目的としたキャンペーンの実施に対して支援。

### (2) 国際観光：海外からの誘客プロモーション活動の展開

#### ■韓国国際観光展（KOTFA2004）への出展

6月3日～6日

- ・各国より352機関・団体、日本から25団体が参加。
- ・同時期に開催された訪日向け商談会「韓国アウトバウンド2004」に宮城県・山形県の会員とともに参加。

#### ■台北国際旅行博（ITF2004）への出展

11月15日～18日

- ・東北ブロック広域観光振興事業推進協議会、北東北国際観光テーマ地区推進協議会、栃木・南東北国際観光テーマ地区推進協議会と共同で出展。
- ・「日本東北ブース」は日本からの参加団体の中で最大規模。

#### ■東北フェア in 上海への参加

11月23日～28日

- ・東経連や東北6県等が主催する「東北フェア in 上海」に参加。当協議会は「観光セミナー・商談会」を開催、「CITM2004」（中国国際旅遊交易会）に出展。

### (3) ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）等を活用した事業の検討・実施

#### ■ハワイ旅行社招聘事業

5月17日～21日

- ・ANA ホノルル支店を中心に現地旅行会社を招聘し、視察・商談会・情報交換会を開催。

#### ■台湾誘客ミッション派遣事業

9月1日～5日

- ・仙台～台北定期便新規開設（9月1日、長栄航空）を機に、ミッション団（日本側50

名)を派遣。

- ・現地の航空会社系大手旅行会社 6 社への表敬訪問及び現地の旅行者・航空会社・メディア等との商談会・セミナー・情報交換会を開催。

■長栄航空東北広域招聘事業

9月1日～5日

- ・仙台～台北定期便新規開設に合わせ、長栄航空系列の旅行代理店や台湾の旅行業界誌記者等 18 名を招聘し、東北観光セミナー、歓迎レセプション(1日)を開催。

■「YOKOSO!JAPAN 東北・秋」の実施

10月25日～29日

- ・韓国、台湾、中国、香港、米国の主要旅行エージェント及びマスコミのキーパーソンを 55 名招聘。
- ・10月28日、花巻市において、国際シンポジウム、インバウンド講演会、交流商談会、交流懇親会を開催。
- ・本事業は「YOKOSO!JAPAN 東北」実行委員会(委員長：勝股康行副会長)が主催した国土交通省東北運輸局との連携事業。

■中国・旅行専門衛星放送テレビの活用による宣伝事業

- ・東北観光宣伝番組を中国全土(約 8 千万世帯)に配信。
- ・平成 17 年 1 月 1 日より放送開始。  
番組タイトル：東遊紀行 日本東北 美しい四季(毎週土曜日 18:30～19:00)
- ・本事業は「YOKOSO!JAPAN 東北」実行委員会の事業。

■日韓国交正常化 40 周年記念韓国プロモーション事業

2月20日～21日

- ・日韓国交正常化 40 周年を機に、現地航空会社・大手旅行会社への表敬訪問、東北セミナー・商談会を開催。

(4) 外客取扱い専門業者に関する基礎調査・検討

- ・外国人観光客誘致に有効な事業の調査・研究を行う組織として、当協議会に「プロモーションセンター」を設置(4月)。3ヶ年(16年度～18年度)計画で事業を推進。
- ・海外の旅行会社が商品造成する上での観光情報の提供を一元的に行う「情報ウェブサイト」を構築(17年5月)。同時に、海外の旅行関係者のニーズや域内観光業者の相談等に対応できる窓口機能も整備。

### 3. 北海道・東北 21 世紀構想推進会議の活動への支援

昨年度に引き続き、北海道・東北 21 世紀構想推進会議へ事務局員を派遣し、活動を支援した。平成 16 年度は「国際観光プロモーション事業の推進」、「北東アジア情報ネットワーク拠点整備事業の推進」、「公設試験研究機関に関する検討」、「北海道・東北地域内の重要プロジェクトへの支援」を柱に、事業活動を行った。

#### (1) 国際観光プロモーション事業の推進

##### ■「北海道・東北プロモーションオフィス」の設置

外国人観光客を積極的に誘致するため、平成 15 年度より中国・上海、台湾・台北の 2 都市に試験的に設置。同オフィスの業務は、海外でのプロモーション活動に経験と実績を有する（株）ジェイ・アイ・シー東北支店に委託。

##### 【主な業務委託内容】

- ・現地旅行エージェント・マスコミ等へのセールス活動
- ・海外及び域内の関係者からの相談への対応・サポート業務
- ・調査報告業務
- ・「北海道・東北 Mail News」の発信
- ・商品化への対応

#### (2) 北東アジア情報ネットワーク拠点整備事業の推進

##### ■中国への域内産業の事業展開サポート

中国に拠点があり現地政府等との連携が可能な民間機関に業務委託を試行的に実施。業務委託は、遼寧省政府と日中初の合弁のコンサルティング会社を設立（平成 15 年 1 月）した日本のシンクタンク、（株）旭リサーチセンターに委託。

##### 【主な業務委託内容】

- ・中国市場マーケティングリサーチ事業
- ・推進会議向け月刊情報誌「中国短信」の発行
- ・中国への事業展開に関する調査報告書（個別調査）

#### (3) 公設試験研究機関に関する検討

##### ■公設試験研究機関に関する検討部会

地域産業の振興を図るため、域内の工業系公設試験研究機関の課題と対応策について意見交換。また、平成 18 年度を目途に独立行政法人への移行に向けた検討作業を進めている東京都の実務責任者を招き、意見交換。

#### (4) その他

##### ■南東北 SUN プラン(南東北中枢広域都市圏構想推進協議会)への支援活動

事務局は宮城県。平成 16 年度は「社会教育施設の連携による活性化支援事業」、「域内の地域づくり交流会の開催」、「広域幹線道路の整備に関する講演会」、「域内の広域連携事業・各種交流事業の実施機関に対する助成」等の事業を実施。

##### ■広域地方政府・地域コミュニティ研究会への支援活動

総合研究開発機構（NIRA）の平成 15 年度～16 年度一般研究助成調査で東北と関西が共同研究。実施主体は、財団法人関西社会経済研究所と財団法人東北開発研究センター。当会は、研究協力機関として活動を支援。

## 提言・調査研究活動

### 1. 企業経営に関するアンケート調査結果報告（6月、12月）

東北地域の景気動向と企業経営の実体を把握することを目的に実施。月報「東経連」の6月号に第54回、12月号に第55回の結果をそれぞれ掲載。

### 2. 東北地域の産業競争力強化に向けた産学官連携コーディネーターの確保・育成戦略（6月）

産学官連携活動を効率的・効果的に推進し、成果を挙げる上で重要な要素となるコーディネーターの存在に焦点を当て、その役割・確保・育成の現状を分析、今後の戦略を検討したもの。

### 3. コンテンツビジネス育成への試案（10月）

東北地域におけるデジタルコンテンツビジネスの可能性について、情報通信委員会内のデジタルコンテンツビジネス検討会において検討した内容を取りまとめたもの。

### 4. 東北の農業活性化について（12月）

東北地域における農業活性化について、産業政策委員会内の東北の農業活性化検討委員会において検討した内容を取りまとめたもの。

### 5. 東経連・中国東北部経済交流視察報告書（3月）

9月17日～28日にかけて行った中国東北部経済交流視察について、その概要を取りまとめたもの。

## 政策要望活動

### 1. 当会主体の要望

#### (1) 平成17年度政府予算に関する要望

8月3日～4日

(要望先：内閣府、総務省、法務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、東北7県選出国會議員、自由民主党)

東北産業経済の再生と活性化に向けた諸施策の実施と真に必要とする公共投資の東北への重点配分について提言要望。

#### (2) 小泉内閣に望む

10月20日

(要望先：内閣総理大臣ほか閣僚、東北7県選出国會議員、自由民主党)

自律的な景気回復に向けた機動的な経済政策の実施等について提言要望。

#### (3) 新潟県中越地震対策の早期実施に関する緊急要望

11月15日～16日

(要望先：内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、東北7県選出国會議員、自由民主党)

激甚災害の指定、補正予算の早期編成成立等について緊急要望。

- (4) 新潟県中越地域の早期震災復興に関する要望 12月16日～17日  
(要望先：内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、東北7県選出国會議員、自由民主党)  
復興支援特別法の制定、復興のための財政支援等について要望。

## 2. 他団体との共同要望

- (1) 東北地方における社会資本整備の重点的推進に関する提言 7月29日  
(要望先：財務省、国土交通省、東北6県選出国會議員、自由民主党)  
(主 体：当会、東北六県商工会議所連合会、東北・北海道中小企業団体中央会連絡協議会、東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会、東北建設業協会連合会)  
フォーラム「東北は訴える！ーインフラ整備これでいいのかー」(7月22日開催)での決議を踏まえ、公共事業の東北への重点配分等について要望。
- (2) 三経連経済懇談会要望 10月20日  
(要望先：内閣府、総務省、経済産業省、国土交通省、自由民主党)  
(主 体：当会、北海道経済連合会、北陸経済連合会)  
「第9回三経連経済懇談会」(8月26日開催)で決議した景気対策の早期実施、地域経済の自立と発展を支える社会資本整備の促進等について要望。
- (3) 日本海沿岸東北自動車道の早期実現に関する要望 11月30日  
(要望先：内閣府、財務省、国土交通省、東北4県選出国會議員、自由民主党)  
(主 体：日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム実行委員会)  
「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム」(9月13日開催)での決議を踏まえ、日本海沿岸東北自動車道の早期完成について要望。
- (4) 日本政策投資銀行の平成17年度予算に関する要望 12月3日  
(要望先：財務省、国土交通省、経済産業省、東北7県選出国會議員、北海道選出国會議員)  
(主 体：当会、北海道経済連合会)  
北海道経済連合会と共同で、地域経済の自立的な発展のための良質な資金の確保、投融资項目の拡充等について提言要望。
- (5) 科学技術を源泉とした地域の産業競争力強化に向けた提言 3月14日  
(要望先：総合科学技術会議、内閣府、文部科学省)  
(主 体：当会、東北インテリジェントコスモス構想推進協議会)  
東北インテリジェントコスモス構想推進協議会と共同で、2006年4月からスタートする「第3期科学技術基本計画」に対し、地域の産業競争力強化に関する施策の必要性を提言。

## 交流活動

### 1. 国際交流活動

#### (1) 東経連・中国東北部経済交流視察団派遣

9月17日～28日

中国の東北振興政策や関連動向等の把握、省政府関係機関との交流、現地の投資貿易環境視察、「2004年日中経済協力会議-於仙台」のフォローアップに加え、日中双方のビジネスチャンス拡大等のため、八島会長を団長に会員等87名の参加を得て実施。

[表敬訪問先]

内蒙古自治区人民政府副主席	余	德輝氏	(9月18日)
哈爾濱市人民政府市長	石	忠信氏	(9月20日)
黒龍江省人民政府省長	張	左己氏	(9月21日)
吉林省人民政府省長	洪	虎氏	(9月21日)
長春市人民政府常務副市長	崔	傑氏	(9月22日)
遼寧省人民政府副省長	李	佳氏	(9月23日)
在瀋陽日本国総領事館総領事	小河内	敏朗氏	(9月23日)
瀋陽市人民政府市長	陳	政高氏	(9月24日)
大連市人民政府市長	夏	徳仁氏	(9月27日)

[ビジネス交流会等]

黒龍江省概要説明会 (9月20日)  
吉林省ビジネス交流会 (9月22日)  
遼寧省ビジネス交流会 (9月24日)  
大連市ビジネス交流会 (9月27日)

[視察先]

哈飛汽車股份有限公司 (哈爾濱市・9月20日)  
三精製薬集団公司 (哈爾濱市・9月20日)  
中国第一汽車集団公司 (長春市・9月22日)  
長春国家高新技术産業開発区 (長春市・9月22日)  
瀋陽高新技术産業開発区 (瀋陽市・9月24日)  
東軟集団有限公司 (瀋陽市・9月24日)  
瀋陽化学工業集団公司 (瀋陽市・9月24日)  
冰山集団有限公司 (大連市・9月27日)  
大連愛麗思集団公司 (大連市・9月27日)

#### (2) 日・米・中 国際シンポジウム (仙台市)

3月22日

八島会長ほか会員約180名の出席を得て、「国際社会の新たな不安定要因とその克服への課題」をメインテーマに (財) 国際問題研究所と共同で開催。

[パネルディスカッション]

コーディネーター:

前駐中国特命全権大使

谷野作太郎氏

第1部テーマ：「北東アジアにおける緊張の構図とその緩和のための諸方策」

パネリスト：

東京大学東洋文化研究所教授

田中明彦氏

ハーバード大学名誉教授

エズラ・ヴォーゲル氏

中国国際問題研究所所長

馬振崗氏

第2部テーマ：「エネルギーの安定供給確保のための日米中協力の可能性」

パネリスト：

慶應義塾大学法学部教授

国分良成氏

外交問題評議会主任研究員

エドワード・リンカーン氏

上海社会科学院副院长

黄仁偉氏

## 2. 国内交流活動

### (1) 東北7県知事との懇談会（東京都）

5月21日

当会から八島会長、坪井（当時）・村松（当時）・林・藤崎・西井・芳賀副会長の7名、各県から三村青森県知事、増田岩手県知事、浅野宮城県知事、寺田秋田県知事、佐藤福島県知事、金森（当時）山形県副知事、高橋新潟県副知事の出席を得て開催。「東北産業経済の活性化に向けて」をテーマに意見交換。

### (2) 第37回東北地方経済懇談会（日本経団連との懇談会）（仙台市）

7月8日

当会から八島会長、坪井（当時）・辻（当時）・村松（当時）・齋藤・勝股・林・亀井・西井・幕田・芳賀副会長、松村評議員会議長ほか会員約250名が出席、日本経団連からは奥田会長、西室・柴田・三木・宮原・庄山・西岡・和田・勝俣副会長、高原評議員会副議長、和田事務総長、中村・立花専務理事、田中常務理事が出席し、「企業のダイナミズムの発揮と東北産業経済の活性化に向けて」をテーマに意見交換。

[懇談]

- |                     |      |                       |
|---------------------|------|-----------------------|
| ・最近のエネルギー政策をめぐる動向   | 柴田昌治 | 日本経団連副会長<br>(日本ガイシ会長) |
| ・政治への取り組み           | 宮原賢治 | 日本経団連副会長<br>(住友商事会長)  |
| ・産業技術をめぐる最近の活動について  | 庄山悦彦 | 日本経団連副会長<br>(日立製作所社長) |
| ・東北産業経済の活性化に向けた取り組み | 西井弘  | 東経連副会長                |
| ・国際交流・広域観光事業への取り組み  | 辻兵吉  | 東経連副会長<br>(当時)        |
| ・基礎的社会資本の整備         | 勝股康行 | 東経連副会長                |

### (3) 第5回参与会（東北主要大学長との懇談会）（仙台市）

7月28日

八島会長ほか副会長、常任理事の18名及び参与13名の出席を得て開催。「大学と経済界の協力のあり方について - 産学連携による地域貢献」をテーマに意見交換。

### (4) 第10回三経連（北海道、東北、北陸）経済懇談会（福井県あわら市） 8月26日～27日

当会から八島会長ほか12名、道経連から南山会長ほか7名、北経連から山田会長ほか

23名が出席して開催。「個性と魅力あふれる地域の創造」をテーマに意見交換。

[個別テーマと発表者]

1. 地域の現状と課題

江 守 幹 男 北経連副会長（日華化学会長）

林 光 繁 道経連副会長（十勝毎日新聞社社長・主筆）

勝 股 康 行 東経連副会長

2. 魅力に満ちた地域づくりへの取り組み

向 井 隆 道経連常任理事（北海道電気技術サービス会長）

大和田 泰 夫 東経連常任理事

黒 川 秀 雄 北経連常任理事（福井商工会連合会会長）

**(5) 国会議員との懇談会（東京都）**

**12月2日**

国会議員約50名並びに八島会長ほか当会会員約130名の出席を得て開催。東北の基礎的  
社会資本整備、産学官の連携等について懇談。

**(6) 第6回国の地方行政機関との懇談会**

**3月3日**

当会から八島会長、勝股・小針・幕田・佐藤・芳賀副会長、日下・須藤・清水・鈴木  
常任理事、海野理事の11名、地方行政機関から貝沼東北総合通信局長、安宅東北財務局  
長、海野東北農政局長、本部東北経済産業局長、森永東北地方整備局長、松本東北運輸  
局長、大野北陸信越運輸局長、佐藤北陸地方整備局次長の8名の出席を得て開催。「東北  
地域の活性化に向けて - 現状の課題と今後の取り組みについて」をテーマに意見交換。

## 広報・情報提供活動

### 1. 広報活動

- (1) 東経連情報（第1号～第58号） 随時発表  
東北7県の報道機関各社に対して当会事業活動に関する情報を提供。
- (2) 記者会見  
・第1回 7月8日  
八島会長、奥田日本経団連会長が共同記者会見。

### 2. 出版活動

- (1) 月報「東経連」 毎月発行  
当会提言等を取り上げた特集や委員会、地域懇談会における講話等の要旨を掲載し、毎月10日に発行。

### 3. 情報提供活動

- (1) 東経連政策フォーラム
- ・第28回（仙台市） 8月4日  
約80名の出席を得て開催。  
演題：『改革特区』が拓く、地域経済の活性化  
講師：21世紀政策研究所研究主幹 辻田昌弘氏
- ・第29回（仙台市） 11月5日  
約80名の出席を得て開催。  
演題：「最近のテロ事情」  
講師：外務省領事局海外安全相談センター室長 伊藤光子氏  
演題：「海外でのテロ事件と危機管理の実践」  
講師：Ohkoshi Security Consultants 代表取締役 大越修氏  
演題：「海外でのテロ事件と企業の危機管理対策」  
講師：三井物産（株）前安全対策室長 中村常保氏
- ・第30回（仙台市）  
約100名の出席を得て開催。  
演題：「対中投資の勘どころ - 対中投資相談の現場から」  
講師：（株）みずほコーポレート銀行顧問 菅野慎一郎氏
- (2) メールマガジン「東経連インフォ・ボックス」 随時発行  
当会会員限定で、東北の景気動向ほかのニュースリリース、講演会のご案内、東経連活動報告など、リアルタイムに情報発信。
- (3) ホームページのリニューアル 10月7日  
会員PR、景気動向、東北経済基礎データ、東北の動き等、内容を充実。

以上